



CSR
行動原則

1

お客さまに選ばれる商品・サービスの 安全かつ安定的なお届け

関西電力グループは、お客さまに選ばれる商品・サービスの開発・改善に努めるとともに、社会に不可欠なライフラインを担う事業者として、商品・サービスの安全かつ安定的なお届けに、日々、万全を期します。

安定供給のための多様な電源の確保

日本が抱えるエネルギーリスク

日本のエネルギー自給率は6%程度で、資源のほとんどを輸入に頼っています。原油や液化天然ガス(LNG)輸入の多くを頼る中東は政情が不安定なため、過度な依存は価格面、安定供給面でリスクがあります。一方、ウランは世界中に広く分布し、政情の安定した産出国が多く、安定して調達することができます。電気の安定供給のためには、それぞれの資源の特徴を考慮したうえで、資源調達の多様性を確保し、各種電源のベストミックスをめざすことが重要です。

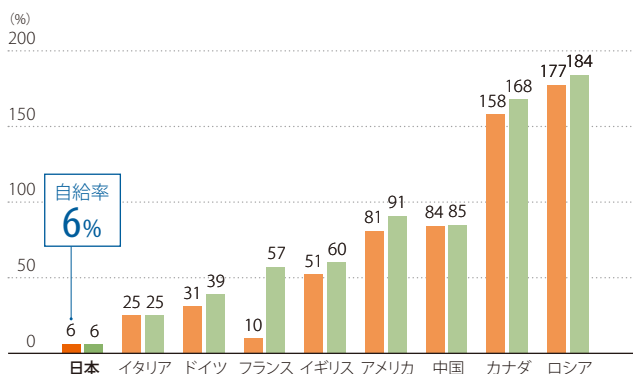
WEB 日本が抱えるエネルギーリスクの詳細は…

関西電力 資源・エネルギーをめぐる問題



■ 主要国のエネルギー自給率(2014年)

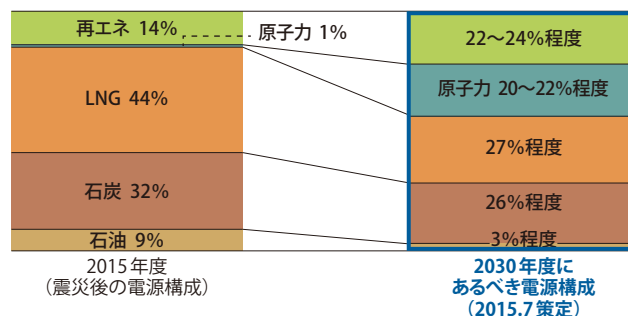
■ エネルギー自給率 ■ 原子力を国産とした場合



エネルギーミックス

2015年7月、政府は2030年度の日本におけるエネルギー需給のあるべき姿を示す長期エネルギー需給見通し(エネルギーミックス)を策定しました。そのなかで、電源構成について、原子力は20~22%と一定の割合を確保することが明記されています。また、再生可能エネルギーの導入については、環境面や立地面などの制約を踏まえつつ、積極的に推進することで、2014年度と比較して約2倍にあたる22~24%の割合をめざすとされています。

■ 2030年度のエネルギーミックス



資源エネルギー庁「長期エネルギー需給見通し」(2015.7)、「長期エネルギー需給見通し 関連資料」(2015.7)などを基に作成

WEB エネルギーミックスの詳細は…

関西電力 エル・メッセージ



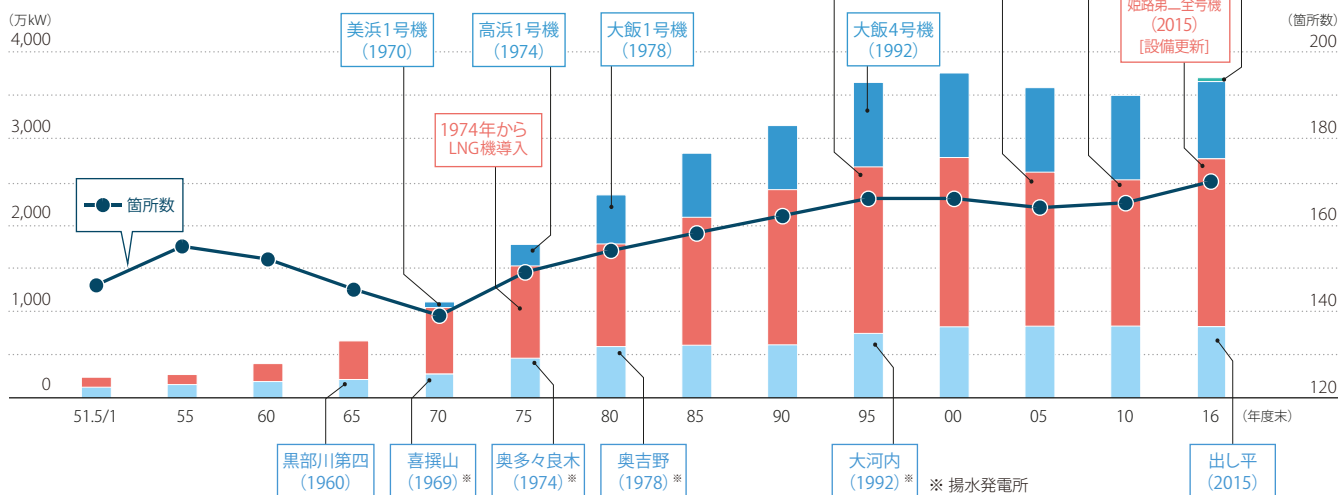
1 お客様に選ばれる商品・サービスの安全かつ安定的なお届け

「S+3E」の観点から設備形成

お客様に良質で低廉な電気をお届けするという使命を果たすため、安全確保(Safety)を大前提に、エネルギーの安定供給(Energy Security)、経済性(Economy)、環境保全(Environmental Conservation)を含めた「S+3E」の観点で、原子力、火力、再生可能エネルギーなどをバランスよく組み合わせさせていただきます。

■ 当社における電源設備構成の推移

■ 新エネ ■ 原子力 ■ 火力 ■ 水力

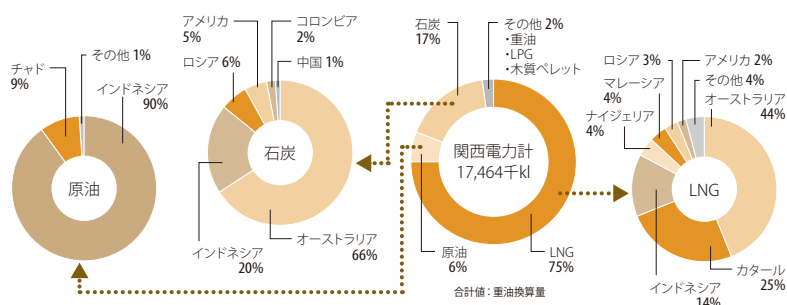


燃料の柔軟かつ安定的な調達

燃料の安定調達に向けた取組み

化石燃料は、埋蔵地域の偏りや生産国の政情不安などさまざまな課題を抱えています。

当社では、化石燃料を安定的、経済的、そして柔軟に調達するため、燃料の生産から受入れまでの各段階にかかわり、調達先の分散化や価格決定方式の多様化に努めています。



機動的なLNGの調達・販売に向けた新会社の設立

2017年4月、シンガポールにLNGの調達と販売の強化を目的とした新会社「関電トレーディングシンガポール社」を設立しました。需要等の変化に臨機応変に対応できる体制を強化し、太平洋エリアのLNGマーケットの中心拠点であるシンガポールで情報収集のネットワークを拡大することで、安定性、機動性、経済性に優れた適時適量の調達、販売に努めます。

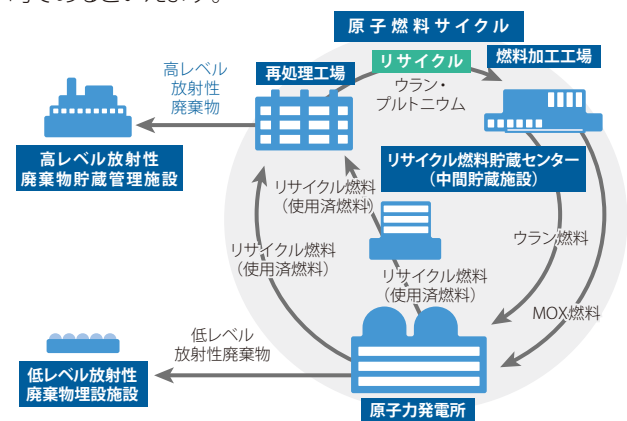
WEB 詳細は… 関西電力 関電トレーディングシンガポール社



原子燃料サイクル による資源確保

原子燃料サイクル

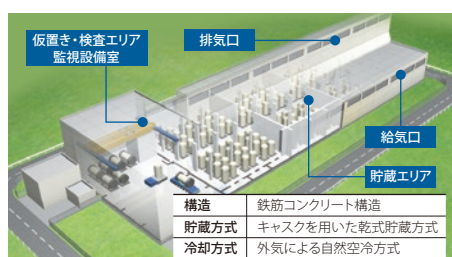
原子力は燃料を安定調達できることに加え、少しの燃料で大量の電気をつくることができ、また、1度取り替えると1年以上発電できることなどから、「準国産エネルギー」と呼ばれています。さらに、原子力発電所で使用した燃料には、再利用できる物質（ウラン、プルトニウム）が含まれており、これらを加工して、再度、燃料として使用することができます。エネルギー資源の有効活用のための「原子燃料サイクル」は、資源の少ない日本にとって、エネルギーを安定して確保するために効果的であるといえます。



参考：電気事業連合会「原子力・エネルギー図面集」2015年版 他

リサイクル燃料貯蔵センター

原子力発電の使用済燃料は再利用できることから、「リサイクル燃料」と呼ばれます。リサイクル燃料を再処理するまでの間、「リサイクル燃料貯蔵センター」という中間貯蔵施設で一定期間貯蔵（中間貯蔵）し、再処理するまでの時間的な調整をおこなうことで、原子燃料サイクルを進めつつ将来にわたって発電所を安定的に運転していくことが可能となります。当社では、2015年に「使用済燃料対策推進計画」を策定し、立地地点確保に向けた取組みや、広く電力消費地のみなさまにその必要性や安全性についてご理解いただく活動に全社一体となって取り組んでいます。



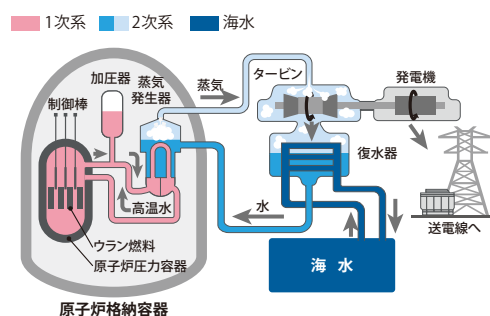
構造	鉄筋コンクリート構造
貯蔵方式	キャスクを用いた乾式貯蔵方式
冷却方式	外気による自然空冷方式

WEB 詳細は… 関西電力 燃料のリサイクル

安全を最優先にした 原子力発電への取組み

原子力発電の仕組み

原子力発電は、ウランを核分裂させて得た熱エネルギーで水を沸かし、その蒸気の力でタービンを回転させて電気をつくります。



原子力発電の安全性・信頼性向上のために

原子力発電所のリスクを低減し、安全を確保するためのさまざまな対策をおこなっています。

原子力発電所の安全確保

原子力発電所では、機械や人を過信せず、「機械は故障し、人はミスを犯す」という考え方を前提に、幾重もの安全対策を施しています。具体的には、万一、異常が発生した場合でも、早期に異常を検出し、自動的に原子炉を「止める」、冷却水で燃料を「冷やす」、放射性物質を「閉じ込める」という安全機能が働くように設計しています。さらに、2011年3月に発生した東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故を踏まえ、深層防護の考え方に基いて新たに施行された原子力発電所の規制基準にも対応するとともに、重大事故（シビアアクシデント）対策や、規制の枠組みを超えた対策もおこなっています。また、各設備の点検や検査を入念に実施するとともに、従来の訓練に加え、重大事故対応訓練などを繰り返しおこない、原子力発電のさらなる安全性・信頼性向上に努めています。

厳重な放射線管理

原子力発電所から放出された放射性物質が周辺環境に及ぼす影響を確認するため、原子力発電所周辺にモニタリングステーションとモニタリングポストを複数設置し、大気中の放射線量を24時間監視するとともに、測定結果をホームページなどで公開しています。また、原子力発電所周辺の土や水、農作物や魚介類に関しても、分析・調査し、周辺環境への影響を確認しています。

WEB 詳細は… 関西電力 原子力発電

1 お客さまに選ばれる商品・サービスの安全かつ安定的なお届け

美浜3号機事故が原点の安全最優先の事業活動

美浜発電所3号機事故以降、当社は「安全最優先」の事業活動を経営の最優先課題として、全社一体となって展開してきました。2017年4月に新たに策定した「関西電力グループ中期経営計画達成に向けた重点取り組み(2017)」において、改めて「安全最優先」が経営の根幹であると掲げました。

美浜3号機事故再発防止対策

2004年8月9日、当社は、美浜発電所3号機の復水配管が破損する事故を起こしました。このような事故を二度と起こしてはならないと固く誓い、「安全を守る。それは私の使命、我が社の使命」との社長宣言のもと、再発防止対策を確実に実施しています。また、毎年8月9日を「安全の誓い」の日とし、全従業員が黙祷を捧げるとともに、自らが安全行動宣言を記入したコンダクトカードを再確認しています。

WEB 美浜発電所3号機事故再発防止対策の詳細は…

関西電力 安全最優先



毎年、「安全の誓い」の石碑の前で安全を改めて誓い、黙祷を捧げる(2016年8月)



「安全の誓い」の石碑

ゆるぎない安全文化を構築するために

美浜発電所3号機事故の教訓を風化させず、安全最優先の事業運営を図るため、安全文化醸成活動に取り組んでいます。さらに、東京電力株式会社福島第一発電所事故以降は、原子力安全の理念を明文化した「原子力発電の安全性向上への決意」を社達として制定し、浸透や原子力安全に関する取り組みの実践を通じて、さらなる安全文化の醸成に努めています。

WEB 安全文化醸成活動の詳細は…

関西電力 安全文化醸成活動



WEB 「原子力発電の安全性向上への決意」の詳細は…

関西電力 原子力発電の安全性向上への決意



■「原子力発電の安全性向上への決意」の構成と要旨

【はじめに】 (福島第一原子力発電所事故を踏まえた反省と決意)	事故から得た教訓を胸に刻み、立地地域をはじめ社会のみなさまの安全を守り、環境を守るため、原子力発電の安全性のたゆまぬ向上に取り組む
原子力発電の特性、リスクの認識	大量の放射性物質を扱い、被ばくや環境汚染のリスクがあるという、原子力発電の特性、リスクを十分認識し、重大な事故を起こせば甚大な被害を与えることを片時も忘れない
リスクの継続的な除去・低減	「ここまでやれば安全である」と過信せず、リスクの継続的な除去・低減に取り組む
安全文化の発展	リスクの継続的な除去・低減に取り組む基盤は安全文化。これまで以上に問いかけ、学び、社会の声に耳を傾ける姿勢を徹底し、安全文化を高める
安全性向上への決意	社長のリーダーシップの下、当社経営の最優先課題である原子力発電の安全性向上に全社一丸となり、取り組む

グループワイドでのゆるぎない安全文化の醸成に向けて

美浜発電所3号機事故の教訓から、当社の事業活動にかかわるすべての人の安全を守ることを第一に、安全活動を続けています。協力会社の方も含めて「共に働く仲間とその家族を不幸にしない」という強い思いを共有し、安全確保を優先する風土の醸成と、安全行動の実践をめざしています。

「経営理念」において安全最優先を経営の基軸と位置づけ、加えて「関西電力グループ安全行動憲章」※において、「私たちの安全に対する思い」や「安全行動の誓い」のさらなる浸透を図っています。これらは、当社グループ内にとどまらず協力

会社にも提唱内容を伝え、情報共有やコミュニケーションを深めるなどグループワイドでのゆるぎない安全文化の醸成に努めています。

※ 詳細はP90をご覧ください



協力会社と一体となった安全活動を展開

WEB 「グループワイドでのゆるぎない安全文化の醸成に向けての詳細は…

関西電力 グループワイド 安全



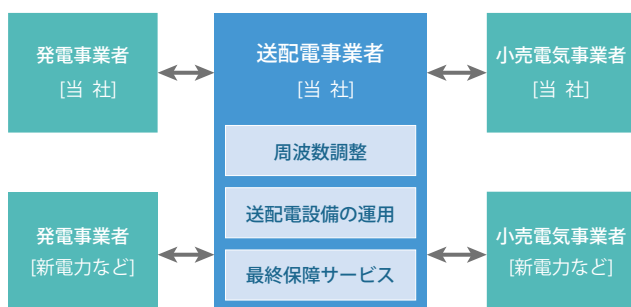
電力小売全面自由化後も 変わらない安全・安定供給のために

エネルギー新時代においても 電気の品質を守る

2016年4月からすべてのお客さまが、電力会社を自由にお選びいただけるようになりました。電力小売全面自由化に伴い、当社の事業は「発電事業」「送配電事業」「小売電気事業」の3つに分類され、それぞれの役割を引き続き担っていきます。

「送配電事業」においては、中立・公平な立場で安定供給を確保するため、エリア全体の需給バランスの維持や、送配電設備の建設・保守、最終保障サービス*の提供をおこないます。

※ 小売事業者の撤退などで、どの小売事業者とも供給契約を結べない利用者に対し、一般送配電事業者が最終的に必ず供給をおこなうサービス



安全・安定供給を支える人材の育成

体系的な訓練を継続して実施し、専門性を備えた人材の育成を図っています。加えて、グループ全体の技術・技能の維持継承を確実におこなうため、高度な技術力を持ち、優れた指導力を備えた人材を専門技術・技能者として認定する制度を整えています。また、個々人の技術力を把握するシステムの導入など、さまざまな取組みを進めています。

専門技術・技能者数

216人

高度な技術力を持ち、
優れた指導力を備えている者を
選定し認定
(2017年5月末時点)

品質の高い電気をお届けするために

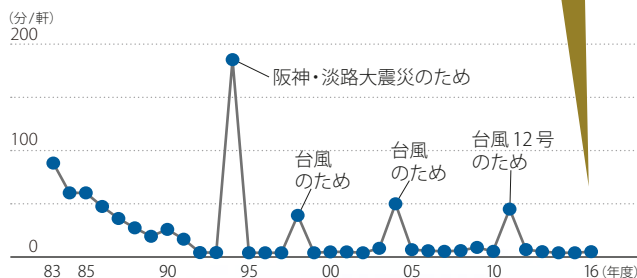
発電所とお客さまをつなぐ電力系統の確実な運用と最適な設備形成に努め、また、事故の再発防止にも徹底して取り組んでいます。その結果、当社送配電事業における電気の品質は世界トップレベルを維持しています。

今後も事故の未然防止や、万一事故が発生した場合でも迅速な復旧をめざし、新技術や新工法の開発・導入および、設備の高経年化への計画的な対応を進めていきます。

2016年度の停電時間

5分

■ お客さま1軒当たりの年間停電時間の推移



※ 停電＝事故停電＋作業停電



1 お客様に選ばれる商品・サービスの安全かつ安定的なお届け

電気事故を防止するために

当社電気設備(送配電設備など)に接近・接触または損傷が発生すると、感電による負傷や広範囲の停電など、社会的に大きな影響を与えることがあります。

このような電気事故を防止するため、工事会社の工事の際やお客様の日常生活などで、注意していただきたいことをホームページや各種PR活動でお知らせしています。

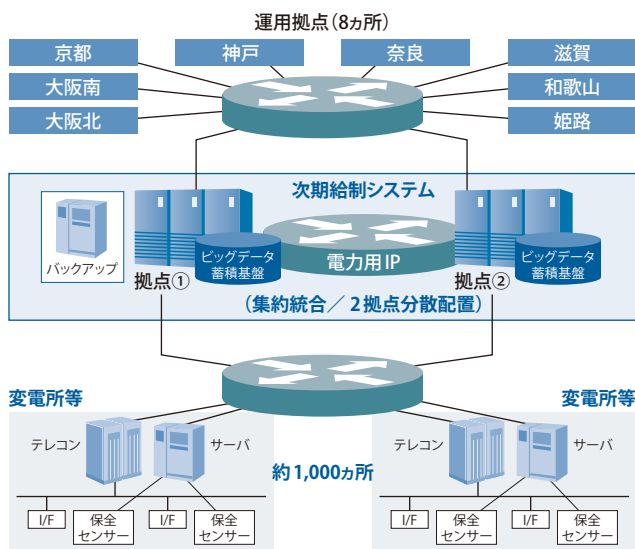
WEB 電気事故防止の詳しい情報は…

- 工事の際には… 関西電力 電気事故防止 
- 日常生活では… 関西電力 こんな事故にもご注意ください 

次期給電制御所システムの構築

275kV以下の電力システムの監視・制御に用いている給電制御システムについて、現在システムの更新工事を進めています。次期システムは8エリアのシステムを1システム・2拠点に集約、エリア間を跨ぐ広域的な自動復旧や拠点間の相互バックアップによる大規模災害時の可用性向上を図るなど、これからも電力の安定供給に貢献していきます。

■ 次期給電制御システム



関西エリアの東西に跨る高経年設備の確実な改修

275kV新加古川伊丹線は兵庫県姫路エリアの火力発電所で発電した電気を大阪方面へ運ぶ、重要な送電線です。建設から68年経過し設備不具合が顕在化したことから、電力の安全・安定供給のため、計画的な改修を進めています。

本工事では協力会社やメーカーの方々と風通しのよいコミュニケーションでリスクを洗い出し、「安全最優先」で作業を進めています。



配電設備の雪害事故からの復旧

2017年1月中旬に近畿地方北部を襲った大雪は、各地に被害をもたらしました。当社設備も京都、姫路、滋賀エリアを中心に被害を受け、延べ約5万600軒ものお客さまが停電しました。倒壊した樹木の撤去作業などを、当社社員と協力会社社員が協調して対応することで被害発生の翌日には概ね復旧することができました。また、当社では豪雪地域にスノーモービルやクローラーを配備するなど、迅速な復旧作業をおこなえるよう体制を整えているとともに、道路が通行止めになった際には自治体と連携を強め、情報収集に努めています。


け あげ
アイトリブリー
 蹴上発電所が「IEEE マイルストーン」に認定

2016年9月12日、世界最大の電気・電子技術の専門家組織である「IEEE」より、当社が保有する京都の蹴上発電所が「IEEE マイルストーン」に認定されました。

蹴上発電所は、琵琶湖疏水を利用した日本初の事業用水力発電所として1891年に運転を開始。水力発電の先駆けとして日本の産業の近代化に貢献したことが評価されました。

蹴上発電所は運転開始から100年以上経ったいまでも、京都の街に電力を送り続けています。

※ IEEE マイルストーン：画期的なイノベーションで開発から25年以上経過し、地域社会や産業の発展に多大に貢献したものと認定される歴史的な業績を称える賞。



災害への備え

大規模災害への備え

電力の安定供給を使命とし、さまざまな自然災害に対し、「災害に強い設備づくり」「早期復旧に向けた防災体制の確立」を基本とする防災対策に取り組んでいます。また南海トラフ巨大地震に対しても、国が公表する防災対策の基本計画などを踏まえ、防災対策を進めています。

災害発生時の対応体制の強化

災害発生時の速やかな初動対応に向け、早期出社者の指定や責任者の宿直といった制度構築に加え、初動対応に特化した訓練を年に複数回実施するなど、対応体制を整えています。また社長を本部長として全社大の体制で年1回全社総合防災訓練を実施しており、地震だけでなく原子力災害が同時に発生するケースや、電力需給が逼迫するケースなどシビアな状況を想定し、従業員の災害対応スキルの向上と防災意識の高揚を図っています。



関係機関との平時および緊急時における連携強化

大規模広域災害が発生した場合には、当社単独での対応には限界があるため、行政・警察・消防等の社外関係機関や他電力



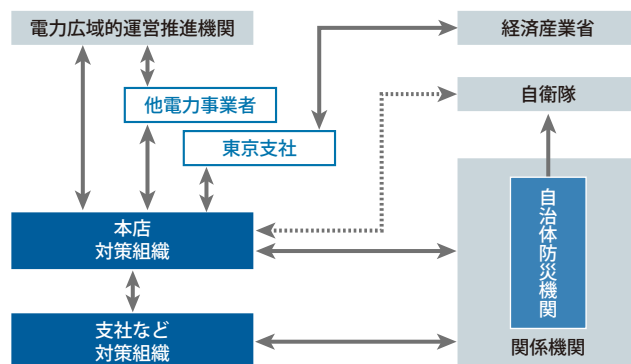
海上自衛隊のホバークラフト型輸送船に当社の特殊車両を搭載し、砂浜に上陸・走行する訓練

会社と連携し、電力の早期復旧に全力を尽くします。緊急時における相互協力を円滑におこなうため、平時から顔の見える関係の構築に努めています。自治体の防災訓練へ積極的に参加するほか、陸上自衛隊中部方面隊および海上自衛隊呉地方総監部とは協定を締結しており、会議や訓練を毎年1回以上実施しています。

新しい経営環境下でも変わらぬ災害への備え

電力の小売全面自由化に伴い、数多くの企業が電気事業に参入しました。これまで当社が単独で担っていた電力の復旧対策などは、多くの事業者と共におこなうことになります。送配電部門の法的分離も見据え、電力広域的運営推進機関や新規事業者などと積極的に連携を図り、これからも電力の安定供給に努めます。

■ 緊急時の関係機関との連絡体制



WEB ご家庭での防災にお役立ていただける『防災ハンドブック』と、当社の防災対策をまとめた『関西電力の防災対策』（冊子・動画）を当社HPで公開

関西電力 発行冊子・動画



(左)『防災ハンドブック』
(中)『関西電力の防災対策』
(右)『関西電力の防災対策』ビデオ

南海トラフ巨大地震への対策

南海トラフ巨大地震および最大クラスの津波に対しては、防災業務計画を策定・公表するとともに、「人命を守る」ことを基本として、「経済・社会への致命的な影響を回避する」ため、ハード面・ソフト面のさまざまな施策の組み合わせにより総合的に対策を推進しています。

たとえば、浸水が予想される地下式の変電所においては、停電範囲を最小限に抑えるべく、入口扉の水密化や脱着式防水パネルの設置等を実施しています。また災害復旧車両等の燃料確保のため、燃料優先供給協定を締結するとともに、一部の消防当局に仮貯蔵・仮取扱実施計画書を事前提出のうえ、定期的に仮給油所の設営・給油訓練を実施しています。



燃料仮給油所の設営・給油訓練

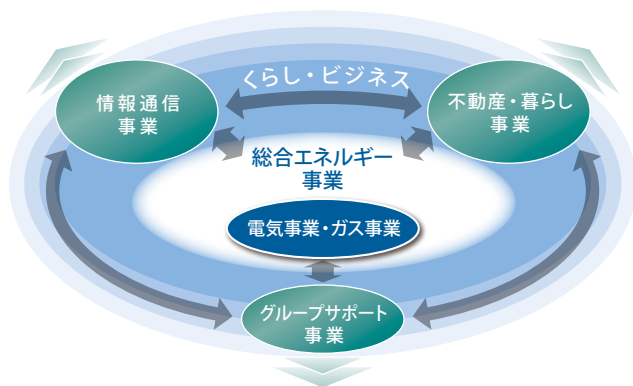
1 お客様に選ばれる商品・サービスの安全かつ安定的なお届け

グループ一体となったサービスのお届け

「くらしとビジネスのベストパートナー」をめざして

当社グループは、これまでも電気を中心とする総合エネルギーや情報通信、不動産・暮らし関連などのグループサービスを組み合わせたトータルソリューションをご提供し、お客さまや社会のさまざまなニーズにお応えしてきました。今後も、お客さまに当社グループをお選びいただき、エネルギー新時代におけるグループのさらなる成長を実現するため、総合エネルギー事業を中核に、当社グループ会社のサービスに加え、他企業とのアライアンスにより、お客さまの立場に立った安心、快適、便利なサービスを幅広くお届けすることで、「くらしとビジネスのベストパートナー」をめざします。

■ 成長のイメージ



ご家庭のお客さまへのサービス

電気の新料金メニュー「eスマート10」、「eおとくプラン」を新たにご用意し、2017年4月からは「関電ガス」のお届けも開始しています。また、電気のお困りごとに駆けつけける「でんきの駆けつけサービス」、暮らしのトラブル対応と優待サービスをセットにした「はぴe暮らしサポート」、当社の電気・ガスのご使用でたまる「はぴeポイント」といった暮らしに役立つサービスもご用意しています。これからは、電気だけでなく、ガスもお届けする総合エネルギー事業者として、価格とサービスの両面でお客さまからお選びいただけるよう取り組んでいきます。

※暮らしに役立つ各サービスの詳細はP45、「関電ガス」の詳細はP20をご覧ください

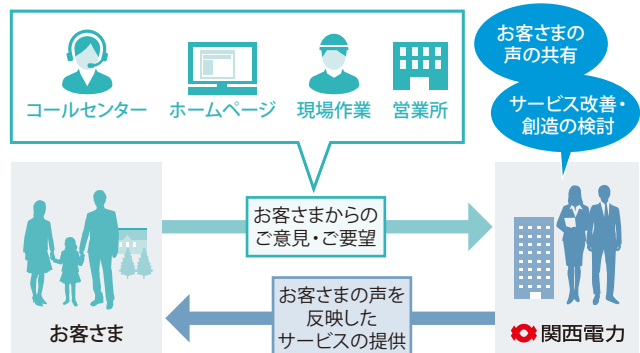
お客さまの声に基づく改善件数

90件

※2017年4月末時点で21件について改善策を検討中

お客さまの声を反映したサービスの開発と改善

コールセンターやホームページなどで頂戴したお客さまからのご意見やご要望を、サービスの開発や改善に活かしています。



WEB お客様の声を反映事例の詳細は…

お客さまからのご意見・ご要望を反映した新サービス

サービスの開発事例

電気の使用状況で遠方に住む家族の様子が確認できるサービスを提供してほしい!

「はぴeみる電」を活用した離れて暮らすご家族などの生活リズムお知らせサービス

はぴeみる電

2017年1月受付スタート!

① 電気使用量データを用いたサービス

② 冷蔵庫の開閉履歴データを用いたサービス

「お客さま満足度調査」の実施

お問合せいただいたお客さまを対象とし、担当者の印象や処理内容の評価をお聞かせいただく「お客さま満足度調査」を実施しています。

この調査結果は、お客さまの期待に迅速かつ的確にお応えすべく、応対研修をはじめ、安全作業の徹底ならびに電気のプロとして技術力を高める訓練に反映し、電気と安心をお届けできるよう努めています。

でんきの
駆けつけサービスの
提供を受けた

92.3%

のお客さまが満足

お客さまのニーズに応える新たなサービス・価値の創出

(株)ケイ・オプティコムでは、高速で信頼性の高い独自の光ファイバーネットワークを活用したFTTHサービス「eo光ネット」・「eo光電話」・「eo光テレビ」に加え、携帯電話サービス「mineo（マイネオ）」、さらに2016年4月からは「eo電気」といったお客さまにとって魅力あるサービスを提供しています。

また、2017年4月からは、ガスの小売全面自由化が実施されたことを契機に、「eo光」をご利用いただいているお客さまに向け、当社が提供する関電ガス「なつくプラン」と「eo電気」のセットの提供を開始しました。

他社や異業種とのコラボレーションなどによる新たなサービス・価値のご提案を通じ、お客さまのニーズにお応えしていきます。



(株)ケイ・オプティコム
サービスブランド

お客さまからの信頼を基盤にした生活関連サービス

当社は、ご家庭のお客さまへ、暮らしに密着した安心、快適、便利な生活関連サービスを、品質第一でお届けすることを通じ、個社として収益拡大を図るとともに、当社グループがお客さまにとっての“くらしのベストパートナー”として信頼され、選ばれる存在となることをめざしています。なかでも介護サービスについては、超高齢社会の到来を踏まえ、サービスエリア拡大やサービス内容のさらなる充実を図るため、当社と(株)関電セキュリティ・オブ・ソサイエティ(以下関電SOS)は2017年4月に京阪ライフサポート(株)の全株式を取得し、連結子会社としました。(同年7月に、かんでんライフサポート(株)に商号変更)

今後、当社グループの介護事業会社である(株)かんでんジョイライフとの2社体制により、京阪神地域のお客さまに、高品質な介護サービスを提供すると同時に、ホームセキュリティ事業会社である(株)関電SOSとの協業による高齢者向け見守りサービス等の新サービス開発検討など、当社グループの総合力を発揮することで、これまで以上に、お客さまの安心、快適、便利な暮らしの実現をサポートしていきます。



法人のお客さまへのサービス

当社は、お客さまのニーズに沿った最適なエネルギーシステムとその運用方法の提案を通じて、省エネ・省コスト・省CO₂など多様なニーズに応える取組みを推進しています。

WEB 法人のお客さまへのサービスの詳細は…

関西電力ソリューションサービス



「ユーティリティサービス」のご採用事例

近鉄不動産株式会社さまが2014年3月にグランドオープンされた地上300mの超高層複合ビル「あべのハルカス」では、(株)関電エネルギーソリューション(Kenes)のユーティリティサービスを採用いただいています。

ビルにはKenesのエネルギー専門技術者が24時間常駐し、百貨店、オフィス、ホテル、美術館とエネルギー要求品質が異なる施設の運営をおこなっています。また、エネルギー使用状況をリアルタイムでモニタリングし、収集データを運転や保守管理に活用することで、継続的な省エネ・省コスト・省CO₂を実現しています。このように、エネルギーマネジメントに関する業務をKenesに委託されたことで、お客さまからは、対応要員を含めて経営資源を本業に集中することが可能になったとのお声を頂戴しています。

■「ユーティリティサービス」のご採用事例

法人のお客さまへのサービス事例	
電気ご使用量 お知らせサービス [関西電力(株)]	電気使用状況をWebで見える化するほか、お客さまの課題解決に役立つコンテンツやメールマガジンを配信。
ユーティリティサービス [(株)関電エネルギー ソリューション]	エネルギーに関するユーティリティ設備(受電設備・空調熱源設備、ボイラなど)の資金調達・設計・施工・保守運営までを一貫して提供することで設備管理のアウトソースが可能となり、お客さまの初期投資も不要となるサービス。
福祉車両リースサービス [(株)関電L&A]	リース・販売、修理・改善により、福祉車両をトータルにサポート。
事業所警備業務 [(株)関電セキュリティ・ オブ・ソサイエティ]	24時間365日不審者の侵入や火災などの異常事態を素早く検知し、現場へ駆けつけるなど、お客さまの安全をお守りするサービス。
建物総合管理業務 [関電ファシリティーズ(株)]	建物・設備の日常保守管理や清掃、警備、環境衛生、エネルギー管理等を通じて、安全・安心な施設環境を提供し、資産価値の向上に資するサービス。

[]はサービス提供グループ会社



「あべのハルカス」のユーティリティ設備を点検

1 お客さまに選ばれる商品・サービスの安全かつ安定的なお届け

PICKUP!

お客さまサービスのさらなる向上をめざして

お客さまに安心・おトク・便利をお届けするため、さまざまなサービスをご用意しています。



はぴe ※1
でんきの駆けつけサービス

WEB 各サービスの詳細はコチラ! 関西電力 暮らしに役立つサービス

お家の中で電気のトラブルが発生したときに、関西電力が駆けつけて対応します!

安心

突然照明が消えた・ブレーカーが頻繁に落ちるなどの電気のトラブル発生時に駆けつけます。

24時間 365日 サポート

24時間 365日の体制でサポートします。

登録 不要

無料 ※

関西電力の電気をお使いのお客さまなら登録不要! どなたでもご利用いただけます。(一部エリアを除く)
※ 出張費、工事費は無料ですが、取替えた電気設備の材料費は有料となります。

はぴeみる電 ※2

電気・ガスの使用量と料金がWEBで確認できます!

便利

ここがオススメ!

電気・ガスの「見える化」

STYLE MAGAZINE

毎号おトクな情報をお届けする「STYLE MAGAZINE」では、月替わりで豪華なプレゼント企画を実施しています!

パソコンやスマートフォンから、最大25ヵ月分*の情報が、いつでもどこでもチェックできます。
※ご加入月によって確認いただける範囲が異なります。

はぴeポイント ※3

はぴeみる電のご利用でおトクなポイントがたまります!

おトク

ここがオススメ! NEW

ご利用金額に応じてポイントがたまる

2017年4月から電気、ガスのご利用金額に応じてポイントを付与するようになります。ますます貯まりやすくなりました! ※はぴeみる電およびはぴeポイントクラブへのご加入のうえ、ログインしていただくことがポイント付与の条件となります。

みんなでわっしょい! プログラム

たまったポイントを、地域・社会を盛り上げ貢献するプロジェクトの応援に活用できます。

はぴe暮らしサポート ※4

暮らしの「もしものトラブル」に緊急で駆けつけるサービスと、毎日の暮らしで利用する施設が優待価格になるサービスをセットで提供します!

安心

ここがオススメ!

緊急の駆けつけサービス

優待サービス

月額108円(税込)

3つのトラブル発生時に専門のサービス業者が駆けつけ、無料*で応急処置をおこないます!
※応急処置が30分を超過した場合や部品交換やそれに伴う作業が生じた場合は、別途費用が必要となります。

グルメ・レジャー・映画・宿泊など国内外20万ヵ所以上の施設で優待サービスを受けられます。

はぴe暮らしサポート NEW

離れて暮らすご家族の生活リズムをお知らせし、安心をお届けします!

安心

ここがオススメ!

電気使用量データを聞いたサービス

冷蔵庫開閉履歴を聞いたサービス

電気使用量から生活リズムを推定し普段と異なる際にお知らせします。*
※使用電力量の変化をお知らせするものであり、利用者さまの緊急事態や安全状況をお知らせするものではありません。

日々の冷蔵庫の開閉情報を、はぴ太がお知らせしてくれます。*
※冷蔵庫の開閉日時をお知らせするものであり、利用者さまの緊急事態や安全状況をお知らせするものではありません。
※別途有機機器の購入が必要です。

※1 不良電気設備の取替は、関西電力で対応可能な簡易なものに限ります。照明器具、電化製品、屋内配線などの取替・修理は含みません。関西電力の委託業者が訪問させていただく場合がございます。関西電力との契約の有無に関わらず、送配電設備要因の可能性がある場合(台風などの非常災害を含む)、火災などの保安上緊急を要する場合は、従来通り送配電部門が対応いたします。 ※2 通信料、インターネット接続料はお客さまのご負担となります。 ※3 通信料、インターネット接続料はお客さまのご負担となります。電気の契約が、従量電灯A、Bの場合、1,000円(税込)につき、3ポイントを付与いたします。ガスの契約が、なつくプラン、なつくプラン(eo割)、なつくプランfor au、なつくプランfor 中央電力のお客さまに1,000円(税込)につき、5ポイントを付与いたします。 ※4 通信料、インターネット接続料はお客さまのご負担となります。関西電力と電気との契約があり、かつ、はぴeみる電にご登録いただく必要があります。 ※5 通信障害等により、一時的または恒常的に本サービスをご利用いただけない場合があります。お知らせする内容の正確性、安全性、有用性の保証はいたしません。サービスのご利用は無料ですが、通信機器、ソフトウェアの準備にかかる費用、インターネット接続料、通信料金等はお客さまのご負担となります。その他各サービスの加入条件や注意事項等の詳細は関西電力のホームページ(<https://kepcorp.jp/>)をご覧ください。

今後の方針

2016年に実施された電力の小売全面自由化に続き、2017年よりガスの小売全面自由化がはじまるなどエネルギー事業は本格的な競争時代に突入しています。

当社グループは、社会に不可欠なライフラインを担う事業者として、送配電事業における中立・公平な立場での安定供給の確保や、専門性を備えた人材の育成や高経年化する設備の保全のほか、関係機関と連携した大規模災害への備え、グループ一体となった安全文化の醸成など、電力の安全・安定供給のために今後も変わらぬ姿勢で取り組んでいきます。原子力発電については、「安全確保」を大前提に、「エネルギーセキュリティの確保」、「経済性」および「地球環境問題への対応」の観点から、引き続き、重要な電源として活用していきます。また、電気・ガスなどの総合エネルギー事業を中核とした当社グループ会社のサービスに加え、他企業とのアライアンスも活用しながら、お客さまに選ばれる商品・サービスの開発・改善に努め、「くらしとビジネスのベストパートナー」をめざしてまいります。



関西電力株式会社
経営企画室長
宮本 信之